

令和4年 鳥取市教育委員会 9月定例会 会議録

1 日 時 令和4年9月27日(火) 13時30分 から

2 場 所 鳥取市役所本庁舎 6階 第4 会議室

3 出席者

教育長 : 尾室 高志
教育長職務代理者 : 藤井 喜臣
委員 : 前田 哲雄
委員 : 山脇 彰子

[事務局]

副教育長 : 岸本 吉弘
次長兼教育総務課長 : 横尾 賢二
次長兼学校教育課長 : 安本 雅紀
生涯学習・スポーツ課長 : 須崎 ひとみ
文化財課長 : 佐々木 敏彦 学校保健給食課長 : 山根 ちはる
中央図書館長 : 長本 次郎 教育センター所長 : 安田 直人
学校教育課参事兼指導係長 : 浅見 康陽
学校教育課参事 : 平戸 由美
教育総務課長補佐 : 小清水 晃子

[傍聴者] なし

4 会議次第

○行事報告及び行事予定について [教育総務課]

【説明・協議事項】

- (1) 9月市議会定例会の附議案等について(追加提案分) [教育総務課]
- (2) 9月市議会定例会の一般質問教育長・副教育長答弁要旨について [各課]
- (3) 気高地域の学校統合に関する進捗状況について [教育総務課]
- (4) 学校・児童クラブ等における新型コロナウイルス感染症の対応について [学校教育課]

【先回定例会の議事録】

【その他】

(1) 次期定例教育委員会の開催について

[10月] 令和4年10月25日(火) 13:30～ // 6階第5会議室

[11月] 令和4年11月29日(火) 13:30～ // 6階第4会議室

5 会議概要

13時30分 開会

尾室教育長 あいさつ

○行事報告及び行事予定について

教育総務課長 (資料に基づき説明する。)

【説明・協議事項】

(1) 9月市議会定例会の附議案等について

教育総務課長 (資料に基づき説明する。)

(2) 9月市議会定例会の一般質問教育長・副教育長答弁要旨について

岸本副教育長 (資料に基づき説明する。)

【質問】

(藤井委員)

ねんりんピックというのは市の教育委員会が 窓口なのですか。

(生涯学習・スポーツ課長)

事務局は長寿社会課が担当しております。ただし、スポーツ部門におきましては生涯学習・スポーツ課の方が対応しているということです。

(藤井委員)

全体の窓口は長寿社会課なのですね、わかりました。

(3) 気高地域の学校統合に関する進捗状況について

教育総務課長 (資料に基づき説明する。)

【質問】

(山脇委員)

この関係者会議と、準備委員会のメンバーとは異なるのですか。

(教育総務課長)

関係者会議のメンバーというのは地域振興会議といたしまして、支所ごとにそのエリアの有識者の方、住民の方などを中心として集まっていただくものです。気高統合準備委員会というのは自治会の方も少し入っておられますが、PTAの方など学校関係者の方が多くを占めています。学校主体に考えるのか、地域全体でのまちづくりということで考えるのかということで、若干重なる委員の方もいらっしゃいますが、メンバーは基本的には変えていく方向で考えております。

(山脇委員)

準備委員会では先生方や学校関係の方が多く、関係者会議は地域の方が多くなるということですね。庁舎の検討会議後にその意見をもって関係者会議を進められるということですが、どちらを重要視して進められるのかなと思いました。

(教育総務課長)

統合準備委員会の方で要望を出していただいておりますので、その要望を最大限尊重するというような回答をしております。また、公共施設再配置計画と公共用地をこれ以上増やさないという原則が市としてはありますので、その整合をとるということで、庁内検討会議の場で、どのようにしたらよいか、例えば施設の複合化をしていくとか、統合したら古い校舎は取り壊していくであるといったことをまとめて関係者会議の方に図っていくということです。出していただいた要望をどのレベルまで実現できるかということを考えていきたいと思っております。

(山脇委員)

地域の方が納得されるような形で、尚且つ子どもたちがそこで楽しく学べる場所なり施設なりを決めるべきだということに思いますので、反対意見も当然あると思いますが、なるべくはやく決めてあげるのがよいのではないかなと思います。

(前田委員)

統合準備委員会の方がこれまでいろいろと検討されて要望を出されていますが、関係者会議の方が位置づけとしては上になるのでしょうか。少しそういったイメージももつのですが、その統合準備委員会のメンバーの方は、ここまできたら次に関係者会議が立ち上がって、そこでまた更に検討がなされるということを当初からご存じだったのでしょうか。これからも統合の問題がいろいろなところで起こってくると思うのですが、それぞれの校区で話し合いの場を何とかもってほしいという形で準備委員会をもたれるわけですが、関係者会議でその後検討されるということをご存じでなかった方の中には、準備委員会で検討して出した要望は何だったのかと不信感を持たれる方もいらっしゃるかもしれませんので、当初から次に関係者会議を設けてさらに別の角度から検討してもらおうということで了解を得られているのであれば問題ないと思うのですが、そのあたりはいかがですか。

(教育総務課長)

関係者会議というのは最終的に統合準備委員会の要望なり回答をいただいたうえ

でてきたものです。大きなところとしては新規用地というのを要望としていただいているところで、そのあたりは調整を取っていただく必要があるということです。新規用地ということであれば、先ほどもあったように複合化ですとか前にある学校の用地はどうするのかといったようなことも出てきますので、その点も踏まえて地域住民の方のご意見をいただく必要がでてきたというところがございます。ですからケースバイケースということになるかと思います。

(藤井委員)

リードの方向としては、統合準備委員会で、場所は浜村駅の南側ということが1番言われていますので、そこはベースとしなければいけませんよね。

そこがひっくり返ったら、先ほど前田委員が言われたような話にもなってしまう可能性があります。おそらくこの気高地域が整ったらこれがモデル例のようになるのですよね。統合準備委員会ができる際に関係者会議があるということは言われていなくても、今後はそれがモデル例のようになっていくわけですよね。

(教育総務課長)

そうですね。これが今後の学校統合の1つのパターンといいますか、今回の気高の学校統合を検討していった、次の学校統合に繋げていくということになるかと思っています。

(藤井委員)

統合準備委員会の人たちのご提案はそこをベースにしてということで、あとはどこでどのような意見が出るかわかりませんので、丁寧にやっていくということですよ。

(尾室教育長)

おっしゃるように、通常であれば統合するとなると1つのどこかの学校につくるというパターンなのですが、この度は新規の土地を要望しておられるので、これはやはり丁寧な議論をしなければ次の統合小学校、中学校のときに大きな議論になります。やはり教育の観点とまちづくりの観点というものを整理してかからなければいけないなということですね。

(前田委員)

1番下のところの新しい学校の教育課程や校名等は統合準備委員会でという部分ですが、統合準備委員会がどれだけ責任をもってやるのかというところは考えないといけないところで、すべて統合準備委員会に責任がいかると、すごく敏感で、校名・校歌など、私はこれまで2校統合した学校に1年目からおりましたけれども、何を決めるにしてもかなり言われます。教育課程となると統合準備委員会ではなかなか手に負えない内容かなと思います。この辺りの分担がなかなか難しいところがあるなと思っているところです。

(岸本副教育長)

おっしゃるように、教育課程については、江山学園もそうでしたが、学校代表が

集まり地域の方にも入っていただきながらつくったという経緯がありますので、すべて一任するということはないです。それぞれの立場に立って、教育課程であればどちらが責任をもってやらなければいけないかということですが、最終的に教育課程については教育委員会が責任を持たなければいけないと思っておりますので、そのあたりは今後しっかり考えていきたいと思っております。

(4) 学校・児童クラブ等における新型コロナウイルス感染症の対応について
学校教育課長（資料に基づき説明する。）

【質問】

(尾室教育長)

前田委員、これは大学では全数把握をされているのですか。

(前田委員)

私たちのところまでは公表されません。

(藤井委員)

鳥取短期大学や鳥取看護大学では生徒が陽性になったら必ず届け出るようにということになっているようです。

(前田委員)

陽性になった場合、事務方へは連絡があるようですが、我々のところへは授業を取っている学生が直接連絡をとってくるものだけです。

(藤井委員)

学校でも学級の中で何人以上だったら学級閉鎖にするというようにインフルエンザのような扱いになるのかもしれないね。

(学校教育課長)

はい、現在そのようにさせていただいております。学校長が感染者数を見て見極めてほしいということで行っています。

【その他】

(1) 次期定例教育委員会の開催について

[10月] 令和4年10月25日(火) 13:30～ // 6階第5会議室

[11月] 令和4年11月29日(火) 13:30～ // 6階第4会議室

教育長 以上で9月定例教育委員会を終了します。

閉会 14時15分